

埼玉県中学校体育連盟野球専門部

平成24年11月7日(水) 新人兼県民体育大会 越谷市民球場 天候 晴れ

第1試合 久喜市立久喜南中学校(久喜市) 対 上尾市立東中学校(上尾市)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
久喜南	0	0	0	0	0	0	0								0
上尾東	0	0	2	0	0	0	×								2

球審 戸張 一塁 溝口 二塁 石井 三塁 伊藤

2塁打 福嶋(上) 木村(上) 3塁打 本塁打

1回表、久喜南は、2死1・3塁のチャンスをつくるが、上尾東の投手・安原が後続を押さえ無得点。1回裏、上尾東も、2アウト2塁のチャンスをつくるが、無得点。3回裏、上尾東は、9番福嶋がレフトオーバーの2塁打で出塁。その後、久喜南の失策と2番山下の内野安打で1アウト満塁のチャンスをつくり、3番木村がセンター前に2点タイムリーヒットを放ち、上尾南が先制点をあげる。5回表、久喜南は、無死2・3塁のチャンスをつくるが、上尾東の投手・安原が3者三振の好投でピンチをしのいだ。上尾東の投手・安原はランナーを背負うも要所をしめ完封で試合を決めた。

第2試合 蓮田市立蓮田南中学校(蓮田市) 対 本庄市立西中学校(本庄市)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
蓮田南	0	0	0	0	0	0	0	6							6
本庄西	0	0	0	0	0	0	0	0							0

球審 滝北 一塁 佐藤 二塁 齋藤 三塁 小西

2塁打 3塁打 本塁打

3回表、蓮田南は、死球から犠打で1死2塁、バントヒットで2死1・3塁とチャンスを広げ、四球で2死満塁としたが後続が三振で倒れた。その裏、本庄西も安打で無死1塁、犠打で1死2塁とし、再び犠打で2死3塁としたが得点できずに終わった。その後、両チームともチャンスをつくるが、両投手が要所をしめ、息詰まる投手戦が続いた。その後大会規定により特別延長戦に入った。8回表、蓮田南は3番大橋のタイムリーで1点先制、その後内野安打と安打2本、四球、犠飛で5点を追加、この一回一挙6点をあげた。その裏、蓮田南の投手・湯口が3人で打ちとり、蓮田南が延長戦を制した。

第3試合 越谷市立大相模中学校(越谷市) 対 伊奈町立小針中学校(伊奈町)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
伊奈小針	0	0	0	0	0	1	0								1
越谷大相模	0	0	0	0	0	0	0								0

球審 武井 一塁 浅野 二塁 伊藤 三塁 平原

2塁打 3塁打 本塁打

2回表、伊奈小針は2死から6番塚本が右安で出塁するも牽制死。3回表、伊奈小針は8番山崎が中安で出塁し、犠打で2死2塁とするも続く1番山崎が内飛に倒れた。2回以降、伊奈小針の投手阿部が大相模打線をほぼ完璧に押さえる好投を見た。対する大相模近藤も安打を許すものの要所を締める投球で得点を許さなかった。試合が動いたのは6回、伊奈小針は二死から2番久保田が内安で出塁、さらに死球でチャンスを広げ、4番阿部がライトへ先制の適時打を放った。それに対して大相模は6回裏、先頭の9番茶位がバントヒットで出塁し、盗塁を決めた。続く打者が内飛に倒れるものの、2番高須が内野安打でチャンスを広げ、1死1・2塁。犠打で走者を進め、続く打者は4番泉。しかし、ここを伊奈小針の阿部が投ゴロに打ちとった。7回裏の大相模の攻撃、先頭の5番横山が内野安打で出塁するも次打者が併殺打。続く打者は三振に倒れ、伊奈小針が試合を制した。

第4試合 春日部市立春日部中学校(春日部市) 対 川越市立大東中学校(川越市)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
春日部	2	0	2	0	1	7									12
川越大東	0	0	0	0	0	0									0

球審 石井 一塁 加藤 二塁 佐藤 三塁 仁科

2塁打 田代(春)2 3塁打 増田(春)2、相沢(春)2 本塁打

1回表、春日部は失策とバントヒットと1番中村の好走塁で1点先制、なおもランナー2塁で3番増田のタイムリーヒットで1点を追加し、初回に待望の2点をあげた。同じく春日部は、3回表、安打で無死2塁とし、バントヒットで1・3塁とチャンスを広げ、盗塁で2・3塁とし、2番田巻がタイムリーヒットを放ち2点を追加した。なおもランナー1塁で、パスボールで3塁まで進み、その後四球で1・3塁としたが得点できずに終わった。5回表、2死から四球と安打で1・3塁とし、ポークで1点を追加した。6回表、安打と失策で無死1・2塁、バントヒットで満塁とし、3番増田の走者一掃のタイムリー3塁打で3点を追加した。なおも四球と盗塁で2・3塁とし、6番相沢がタイムリー3塁打でさらに2点をあげ、その後安打で1点を追加し、9番田代の2塁打で1点を追加し、この一回一挙に大量7点をあげた。投げては西野・田代・増田の完封リレーで大東打線を0点に抑え、春日部が大会規定による6回コールドで試合を制した。